

NPO法人有明海再生機構 公開討論会

「有明海再生の道筋を探る」

このままでいいのか！益々迷走化する有明海問題を皆で考えよう

有明海問題は諫早開門問題だけに議論が集中し、本来議論すべき「有明海再生し、漁業と環境が両立した海を持続させる道筋」についてのビジョンの提示やその合意形成がなごりにされています。その一方で現在、司法の場において、開門の実施を巡って争われ、不履行に対する対抗手段としての「間接強制」が認められたことで新たな国の予算が必要となってきました。いつまでにどのような決着となるか不透明な状況です。

有明海再生機構では、昨年9月末に、「**有明海の未来に繋げる緊急提言**」を発表し、混迷化する有明海問題に対して司法だけに委ねるのではなく関係者の話し合いで活路を見出すべきということを主張してきました。

有明海関係者の関心事は、有明海再生のはずです。「このまま司法だけに委ねていいのか」、「開門調査だけを実施すればよいのか」、そもそも「開門調査の意義はあるのか」、そこに至った原因は諫早湾干拓事業にですから、「諫早湾干拓事業が有明海環境に及ぼした影響は許容範囲なのか」など議論すべきことはたくさんあります。有明海再生機構としては、これまでに蓄積された科学的データに基づき、このような問題認識や真の有明海再生に向けて国・県・研究者・漁民・市民は今何をなすべきかを討議します。**討議は公開で行いますので、聞くだけでは無く討議に参加して、有明海再生の道筋を一緒に考えませんか。**

【日時】 平成26年5月18日(日) 13:00~16:00

【場所】 佐賀市文化会館 3階 大会議室(佐賀市日の出1-21-10)

【プログラム】

■話題提供 「有明海問題の現状と今後の道筋について」

・有明海再生機構顧問 川上 義幸

■ディスカッション

コーディネーター

・有明海再生機構理事長

: 荒牧 軍治

討議参加者

・環境省有明海・八代海等総合調査評価委員会委員

: 清野 聡子

速水 祐一

・有明海再生機構 副理事長

: 松岡 数充

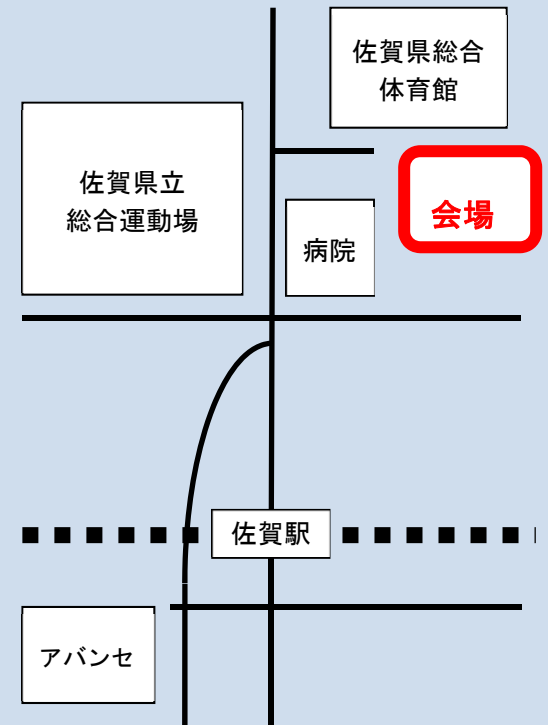
堤 裕昭 大串 浩一郎

・有明海再生機構 顧問

: 川上 義幸

5.18(日)

入場無料



NPO 法人有明海再生機構
佐賀市城内一丁目5番14号
電話番号: 0952-26-7050
HP: <http://www.npo-ariake.jp/>
mail: npo-ariake@ceres.ocn.ne.jp